

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

去る平成17年3月15日、東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内第37号踏切において発生したあの痛ましい事故から、間もなく1年が経過いたします。

貴社におかれましては、事故後、足立区が設置した「竹ノ塚駅付近道路・鉄道立体化検討会」に積極的にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

足立区及び東武鉄道は、国土交通省並びに東京都の指導のもと、新たな歩道橋整備をはじめとする緊急対策に取り組んでおります。

さて、当該踏切を含む、竹ノ塚駅付近の東武伊勢崎線につきましては、地元は継続して鉄道高架化を望んでおりますことは、ご承知のことと存じます。事故後、あらためて開始した竹ノ塚駅付近の鉄道高架化を求める署名は216,993名に達しました。

そして、平成17年9月30日には、永年の悲願である鉄道高架化早期実現まで粘り強く運動を続けるため、地元区民で組織する「竹ノ塚駅鉄道高架化早期実現の会」、足立区関係の全会派の国会議員、都議会議員及び区議会議員で組織する「足立区議会鉄道高架化促進議員連盟」及び足立区が一つにまとめ、「竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会」を結成いたしました。

また、足立区では、「竹の塚鉄道立体化資金積立基金」を設け、将来の鉄道高架の事業化に備えるとともに、平成18年度連続立体交差事業調査費の要望を国土交通省に上げております。

竹ノ塚駅周辺は、足立区にとって北部の地域拠点であり、鉄道高架化に併せ都市機能の更新、地域商業の活性化を図っていきたいと考えております。

つきましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化実現に向け、来年度予定しています連続立体交差事業調査をはじめ鉄道事業者としての技術的調査検討などにつきまして、東武鉄道株式会社とともになお一層のご支援ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

平成18年2月15日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会
会長 鈴木 恒年(印)

東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 梅 崎 壽 様